

絆プロジェクト 郡山高校生歓迎レセプション

総領事 川原 英一 御挨拶

(2013年3月21日 於 マイアミ総領事館)

福島県郡山高校の皆さん、ようこそお出でくださいました。



あの日から、2年が経ちました。
まだ 32万人の方が避難生活をされておられ、東北3県では厳しい冬が続いていると承知しております。

今週初めのNHKニュース報道では、17日に450人の東北地域の高校生が首都ワシントンに行かれて、3.11の語り部として英語でスピーチをしたことが紹介されておりました。皆さんのことです。

(3.11 後のフロリダ州の対応)

フロリダ州内各地では、大学や高校などで日本語・日本文化を学ぶ学生達、また、日本との姉妹都市交流団体、日本からの交換学生がいる大学、そのほかの場所で、沢山の日本支援活動が行われました。日本震災関連のチャリティーがあると聞けば、私共が出席してお礼、感謝の気持ちを申し上げた次第です。

3.11から1年後の昨年3月には、マイアミ市長、姉妹都市関係者など沢山の皆様と共に1周年式典を当地で行いました。当地では、これは、過去、例のない式典でした。式典の際、東北の災害に関するパネル展示など行いました。

昨年4月、ワシントンでの日米首脳記者会見の場で、総理から、日米次世代交流プログラムとしての絆プロジェクトの発表があり、オバマ大統領から大歓迎しますとのご発言がありました。

昨年7月、これから高校生の皆さんが行かれるウエスタン高校の23名の高校生が日本に招待されて、東北の高校生とのボランティア、その他交流活動等のため、福島、東京、名古屋、京都、大阪を訪問しました。

フロリダは、日本から遠いところなのですが、このように、3. 11の関連でいろいろな行事がこれまで行われてきています。これから、郡山高校の皆さんが、ウェスタン高校を訪問されるので、こうした事情を知っておいて頂きたく、御紹介を致しました。

それでは、

郡山高校の皆さんから、今どのように感じられているのか、明日ウエスタン高校では、どのようなメッセージをお伝えされるのか、是非、お聞かせください。(了)

